

## 日本鐵鋼協會記事

**理事會** 昭和6年12月9日(水)午後5時會開 **出席者** 俵國一君、河村 驍君、香村小録君、服部 漸君、室井嘉治馬君、三島德七君 **協議事項** 1). 第2回工學會大會、日本鐵鋼協會部會に關する件、(三島委員の報告もあり) 2). 服部博士記念資金委員會開催準備事項に關する件、3). 第2回工學會大會に就て本會代表講演者推薦の件(前會長今泉博士を推薦決定) 4). 入退會承認の件 **報告** 1. 工學會術語統一委員會の報告 2. 編輯委員會海老原敬吉君は外遊の爲め辭任され其補缺に工學博士山田良之助君は來る1月より就任の承諾ありたり以上にして午後7時30分散會せり

**編輯委員會** 昭和6年12月2日(水)午後5時開會 **出席者** 池田正二君、石原善雄君、田中清治君、室井嘉

治馬君、足立泰雄君、三島德七君、廣瀬政次君 **協議事項** 1. 鐵と鋼第18年第1號上掲原稿選定の件

### 選定論文

- 1) 固態滲炭劑の滲炭力減衰に就て 石澤 命 知
- 2) 鎮靜鋼塊に關する顯微鏡寫眞 廣瀬 政 次
- 3) シートパーシルに就て 宗田 太 郎
- 鈴木 虎 喜
2. 第八回講演大會準備に關する件、3) 大會委員分擔に關する件、4) 寄稿論文頁數制限に關する件(理事會へ提案すること) 5) 工學會術語委員會及大會委員會の報告等にして午後8時散會

### 入會者承認濟

居所又は宛名先	勤務先及職業	會員別	入會者氏名	紹介者
八幡市高見町六丁目官舎	製鐵所製鋼部特殊鋼課	正	野 崎 榮君	久保田省三 徳角野尙
赤坂區青山北町六ノ四八	工學博士工學士東京工業大學教授	〃	山田良之助君	海老原敬吉 室井嘉治馬
福岡縣八幡市高見町二丁目官舎	製鐵所技師	准	川本良行君	松原武三郎
南滿洲鞍山大正通四六八ノ一	鞍山製鐵所銑鐵工場	〃	金丸 勉 章君	淺 輪 三 郎
福岡市西唐人町七九	九州帝大工學部冶金科學生	〃	梶原景光君	井上克巳
戸畑市戸畑町戸畑鑄物株式會社研究所	理學士	〃	内藤逸策君	菊田多利男
大阪市東區大阪工廠鐵材製造所		〃	保田正次君	村松橋太郎

**退會者承認濟 正會員** 比企 彰、黑崎延次郎、佐川榮次郎 **准會員** 津川義正、立山又四郎

**本會役員消息** 理事渡邊博士は渡歐中の處本月25日頃御歸朝の由、理事松下君は社用を帯びられ本月8日歐洲へ向ひ出帆される由。

### 死亡者

本會正會員前評議員内田德郎君の逝去せられたるは洵に痛惜の至りなり茲に謹んで哀悼の意を表す

## 日本鐵鋼協會第七回講演大會狀況 (其 1)

## 講演會の部

## 第 1 日講演會 10 月 17 日 (土)

(本大會委員長製鐵所技監工學博士 野田鶴雄氏の開會の辭は本號卷頭に掲載の如し)

講演會場は製鐵所新研究所とし其の大講演室を第一會場に事務室を第二會場にあて諸般の準備を整へたり此の日朝來快晴、開會定刻に先ち參集する會員陸續として止まず出席會員 179 名傍聽者 30 名に上り在幡各新聞記者數名も加はり一同第一會場に着席すれば大講演室も聽衆堂に溢るゝ計りの盛況なり、定刻午前 9 時開會劈頭會長俵博士の挨拶あり、次で實行委員長野田博士開會の辭(別項参照)を述べ大會第 1 日のプログラムに入る、即ち野田博士司會の下に高壯吉君、綾部先君の講演を初めとし河村驍氏を司會者として鶴瀨新五君、淺輪三郎君、久保田省三君の有益なる講演ありて午前の日程を了へ晝食の休憩に入る、晝食は製鐵所事務所本館の食堂に準備せられたり、會員は食後或は研究所の各室を訪れ其の設備研究狀況等を見學し或は研究所屋上展望臺に立ちて洞海灣頭を壓する製鐵所の全景を又は股賑なる附近工業地帯を俯瞰しつゝ相互歡談修交の時を樂しめり。

午後 1 時講演開始 講演第一部は第一會場に第二部は第二會場に別々に開始せられ會員は隨意選擇して聽講せり第一會場に於ては先づ島岡亮太郎氏司會の下に田口義完君、蓮田道明君の講演あり次に久保田省三氏を司會者として大野宏君、中田義算君の講演、黒田泰造君司會して村上敏雄君、菊田多利男君の講演更に鶴瀨新五氏司會の下に松原武三郎君、高木弘君の講演ありて豫定の日程を了る時に午後 5 時 15 分なりき。

第二會場に於ては吉川晴十氏を司會者として垣内富士雄君、向山幹夫君の講演村上武二郎氏司會の下に梅津七藏君、岩瀬慶三君(福島政治君)の講演高壯吉氏司會して十河浩君、小林佐三郎君の講演更に石川登喜治氏司會の下に嘉村平八君、藤田守太郎君の講演ありて豫定の日程

を終る時に午後 5 時 15 分なりき斯くの如く兩會場は講演者何れも年來蘊蓄の研究を發表せられ聽講會員に多大の感動を與へ裨益する處尠らず盛況裡に講演の第 1 日を了へたり。

## 第 2 日講演會 10 月 18 日 (日)

講演第 2 日は引續き前日の會場に於て行はれたり、此日天氣快晴にして多數の傍聽者加はり前日に優る盛況なり、第一會場 第二會場共に定刻午前 9 時開會講演を進めたり、第一會場に於ては先づ景山齊氏司會して花岡元吉君、小平勇君の講演あり引續き松下長久氏司會の下に宗田太郎君(鈴木虎喜君)、川本良行君の講演更に永田五郎氏司會者として須永已代次君、伊藤正夫君の講演ありて第一部午前の日程を了る時に午後零時 20 分晝食休憩に入る。

第二會場に於ては先づ齋藤大吉氏司會の下に銅金義一君、淺川勇吉君の講演次に加藤榮氏司會して石澤命知君、矢島忠和君(村上武次郎君)、の講演更に川上義弘氏司會の下に多賀谷正義君、石田四郎君の講演ありて第二部午前の日程を了る時に午後 12 時 20 分晝食休憩に入る。

午後 1 時 講演午後の部を第一會場に開會す。

劈頭井上克巳氏司會の下に谷宗雄君、志賀潔君の講演あり次に本多光太郎氏司會して橋本宇一君、内藤逸策君、志村繁隆君の講演あり更に俵國一君を司會者として村上武次郎君(初田數衛君)、本多光太郎君(西山善次君)の講演ありて今回の講演大會に於ける全講演(總數 40)を完了せり會長俵博士立つて閉會の辭を述べ 2 日に互る講演會を了へたり、時に午後 5 時なりき、前日來講演者は何れも技術上又は學術上多年苦心研究の結果發表に蘊蓄を披瀝せられ聽衆に多大の感動を與へ斯界を裨益せらるゝ處尠からず又聽衆は終始眞摯なる態度を以て講演を傾聽せられしこと洵に美はしき風景なりき